

2023年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた事業報告

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人地域福祉サポートちたは、福祉の増進と地域社会の発展に寄与するため、地域福祉を担う市民としての意識の高い人材を養成する事業や市民活動を支援する事業を行った。2027年に向けて基礎自治体ごとの「0～100歳の地域包括ケア」の実践を引き続き目標に立て、学びの場を通じたNPOネットワークのゆるやかな連携を図るため、中堅職員を対象としたNPOの基本を学ぶ研修を実施。また、次世代の福祉人材を育てるため介護職員初任者研修課程取得を目指す高校生を応援する「介拓奨学生プログラム」に参画、当法人は介護職員初任者研修を運営した。

具体的には、本法人の定款第5条第1号の事業として、介護職員初任者研修、喀痰吸引等第3号研修、強度行動障害支援者養成研修基礎・実践課程の福祉人材育成、また自治体行政職員や民生委員、サービスマネジメント等、NPO現場体験型を基盤にした人材育成研修、また昨年度に引き続き愛知県連携・協働事業（(あいち協働事業サポートセンター（N）ボランティアネイバーズ、(N)ボラみみより情報局、当法人の三者協働受託）による、連携・協働のためのコーディネーター専科 参加to実践を実施。定款第5条第2号の事業として、知多市市民活動センター管理、民間助成金運用や、手づくりカフェの運用、知多市のまちづくり担い手育成等の市民活動支援事業、定款第5条第3号の事業として会報発行等の情報交流促進事業、定款第5条第4号の事業として、大学、市民団体や行政等が行うNPOやまちづくり講座への講師派遣やまちづくり審査会等への参加、定款第5条第5号の調査・研究・提言事業として、日本福祉大学看護実践研究センター ポストニッセイ0-100研究事業の事務局を行った。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動事業

I 人材育成・研修事業

I-1 福祉人材育成・研修

安心と豊かさを実現できる在宅サービス、地域福祉を担うヘルパーを育成（県の認定に準じたカリキュラムの実施）



(1)

介護職員初任者研修(通信課程)	実施形態	自主事業	事業規模	1,033,650円
-----------------	------	------	------	------------

日程	場所	事業内容	受講人数
12/14-3/25	日本福祉大学美浜キャンパス	介護に携わる者が業務を遂行する上で必要な知識と技術を習得すると同時に、その実践の根拠となる考え方を学ぶことで、基本的な介護業務を行う介護職員初任者研修課程習得を目指した講義・演習・修了試験の実施	13人
合計			13人

フォローアップ研修

日程	場所	事業内容	受講人数
3/1	日本福祉大学美浜キャンパス	介護現場で働く人や初任者研修資格取得者のための学び直し 科目：こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ入浴、清潔保持(演習)	1人
合計			1人

(2)

介護職員初任者研修(通信課程)	実施形態	介拓奨学生プログラム協働団体	事業規模	3,520,000円
-----------------	------	----------------	------	------------

日程	場所	事業内容	受講人数
5/13-6/16	半田市西区民館、JOBsCOLLEGE、日本福祉大学中央福祉専門学校、豊田市崇化館交流館、P-BASE寿店、よっといでん、(社福)むそうほわわ名古屋星ヶ丘、他	介護に携わる者が業務を遂行する上で必要な知識と技術を習得すると同時に、その実践の根拠となる考え方を学ぶことで、基本的な介護業務を行う介護職員初任者研修課程習得を目指した講義・演習・修了試験の実施	5人
7/15-8/18			18人
合計			23人

[介拓プロジェクト運営者会議]

日 程：Zoom開催 (4/11、5/9、6/15、7/10、8/10、9/12、10/10、11/20、12/18、1/15、2/19、3/11)

構成団体：(社福)むそう、(一社)日本福祉協議機構、(N)外国人就労支援センター、(N)ゆめはーと、(N)ほっとほーむよっといでん、(一社)アスバシ、(N)アスクネット、(N)地域福祉サポートちた

[高校生介拓アワード2023]

日 程：3/20

場 所：日本福祉大学東海キャンパス

参加者：高校生、一般、協働団体他63名

主 催：(公財) あいちコミュニティ財団



[担当者のふりかえり]

今年度は、平日コースと夏休みコース2期の講座を開催した。知多、尾張を中心とした地域からの高校生が受講。プロジェクトメンバーの若手講師陣が「高校生にも分かり易く、楽しく」を意識し講義を行った。研修を通して、専門的な資格を取得するため進学を希望する学生や、同じ目標を持つ仲間との出会いで、自信をつけていく姿が見られ、短期間での成長に驚かされた。運営者会議では、アワードの企画やアルバイト先の選定などの議論を行った。講師や学生同士のつながりも意識しながら、社会人としてのマナーを学ぶステップアップ交流会を企画、実施した。(山森英津子)

(3)

強度行動障害支援者養成研修(基礎課程)	実施形態	自主事業	事業規模	2,575,000円
---------------------	------	------	------	------------

日程	場所	内容	受講人数
6/10、18	メディアス体育館ちた	行動障害が著しい人を支援する施設職員等を対象に障害特性の理解と適切な対応を学び、研修課程習得を目指した講義、演習の実施	38人
10/21、22	メディアス体育館ちた 知多市勤労文化会館		38人
2/25、26	知多市市民活動センター		40人
合計			116人

(4)

強度行動障害支援者養成研修(実践課程)	実施形態	自主事業	事業規模	507,640円
---------------------	------	------	------	----------

日程	場所	事業内容	受講人数
11/18、26	知多市市民活動センター	介護施設などで3年以上の実務経験を有する指導的立場にある職員を対象に、支援計画や手順書の作成を行うため講義・演習の実施	21人
合計			21人

(5)

喀痰吸引等研修(第三号研修(特定の者))	実施形態	自主事業	事業規模	758,250円
----------------------	------	------	------	----------

日程	場所	事業内容	基本受講人数	実地受講人数
6/23、30	知多市市民活動センター	介護職員が施設や居宅において、たんの吸引や経管栄養を行うための研修課程の実施(基本研修・実地研修※) ※実地研修のみ対象者自宅等で実施	7人	26人
合計			7人	26人

[喀痰吸引等研修実施委員会の設置及び運営(必置)]

開催日：1月18日(木) 場所：佳肴(半田市)

内容：①研修実施状況と進捗状況の報告 ②次年度開催検討について

参加者：中島一光(いきいき在宅クリニック院長)、森田貞子(すみれ訪問看護ステーション管理者)、市野恵、山森英津子

[担当者のふりかえり]

介護職員初任者研修では、積極的に学ぶ学生が多く、講師から学んだ支援技術を、互いに教え合う様子がみられた。演習では、事例検討の時間を持つことができ、研修での学びを総合的に深めることができた。施設実習は、7事業所で行い、職員や利用者とのかかわりから、コミュニケーションや支援についての実感を学ぶことができた。喀痰吸引等研修(第3号研修)は、施設内の胃ろう造設の利用者増加の影響もあり、実地研修の受講が目立った。今後も事業所との連絡を密にし、状況判断しながら、研修の実施に努めていきたい。(山森英津子)

強度行動障害支援者養成研修 実践課程では、アセスメントの基本である冰山モデルシートの補足説明を行うなど、受講生が理解しにくいポイントを丁寧に指導し、受講生の目線に合わせた研修となるよう、講師間での引継ぎなどを実施した。

基礎課程においては、すべての回で定員(40名)に近い受講生が修了したが、一方で実践課程の受講希望者は定員を下回る傾向にある。今年度は報酬改定も行われることから、情報収集やニーズの把握に努め、実践研修の重要性等を周知していくよう努めたい。(高熊仁美)

I-2 NPO人材育成研修

(1)

日本福祉大学 NPO協働型サービラーニング	実施形態	委託事業(日本福祉大学)	事業規模	634,800円
----------------------------------	-------------	--------------	-------------	----------

目的：日本福祉大学は2009年4月よりサービラーニング(以下、SL)の取り組みを始めた。知多地域NPO等での社会経験を生かしたプログラムが特徴。また教育プログラムの狙いである「市民性」を育み、「自己形成力(学習意欲・対人関係能力・問題解決能力)」を高めるとしている。本事業は、大学とNPO等のより良い関係性を築くためのコーディネートを行う



実績：SL受け入れNPO等の調整(26団体、学生82人)

SL受け入れNPO等との意見交換会の開催

日程	場所	参加人数
2024/1/27	知多市市民活動センター会議室	28人(NPO等17団体20人、教員4人、大学事務局2人 事務局2人)

[担当者のふりかえり]

NPOが取り組んでいる社会課題をとらえ、学生の目線から見えてきた気づきをNPOへ提言するなど、活動を通して、両者が学びを得ることができた。受け入れ団体の教員との意見交換会では、決められたカリキュラムの中でサービラーニングに取り組むことの難しさや、活動後にも、学生と交流する機会を持ちたいという要望などが話し合われた。(山森英津子)

(2)

インターンシップ	実施形態	委託事業	事業規模	26,000円
-----------------	-------------	------	-------------	---------

目的：当法人の業務体験や研修・会議出席等の機会の提供、会員法人での現場体験等を通じて、NPOの理解と協働を学ぶ

委託元	名称	日程	参加人数
(一社)サポートネットゆっか	知多市若者就労体験	①11/7、9、14、21、24 ②3/21、22、25、26、28	2人
(一社)アスバシ	愛知県立東海樟風高等学校インターンシップ	①8/1、2 ②8/23、24	4人
(一社)アスバシ	マイチャレンジインターンシップ	8/1、2	1人

[担当者のふりかえり]

若者就労体験では、アルバイト経験もなく、法人での作業が初めての「働く場」となった体験者も「対面での接客など、とても緊張したが、まずは、朝起きて休まず出勤できたことが良かった」との声があった。社会に出ることへの不安が、体験を通じて少しの

自信となっていると感じた。(安藤千栄子)

福祉に興味がある高校生を受け入れ、高齢、障害、多世代の居場所等さまざまな事業所に訪問し、地域福祉の実際を伝えた。利用者と支援者という関係性だけではない、福祉の形を学び、地域を大切に想う人とのつながりを見て、価値観が変わったという声を聞くことができた。短時間での訪問にも関わらず、学生を温かく迎えていただき、訪問先の皆様に感謝いたします。(山森英津子)



(3)

マネジメントセミナー	実施形態	自主事業	事業規模	83,000円
-------------------	-------------	------	-------------	---------

目的：地域の暮らしを支えるNPO活動の継続を目指す

開催場所：知多市市民活動センター

日程	事業内容	参加人数
5/1	NPOスタッフのための「働き方」講座 ①NPO基礎講座編 「NPOが仕掛けた地域づくり」 講師：市野恵、「NPOで働くということ」 講師：久野美奈子((N)起業支援ネット)	12人
	②ビジネスマナー編 「NPOでのキャリアを考える」「ビジネスマナーとコミュニケーション」 講師：久野美奈子((N)起業支援ネット)	7人
6/19	仕事に活かす「質問力」講座 講師：久野美奈子((N)起業支援ネット) ①人に関わるとはどういうことか ②聴くとはどういうことか ③質問力とは	12人
7/13	ファシリテーション基礎講座 「創造的会議運営に必要なファシリテーション基礎講座」 講師：名畑恵((N)まちの縁側育み隊)	16人
8/6	SNSを正しく学ぼう！(waiwai交流会と同時開催) 講師：向田邦江((N)ウーマンキッズラボ)	27人
11/17	NPO決算書の「読み方」講座 講師：中尾さゆり((N)ボランティアネイバーズ)	11人
12/5	ファンドレイジング基礎講座 講師：久保匠(ソーシャルセクターパートナーすくらむ)	10人

[担当者のふりかえり]


知多半島のNPOの強みは、半島各所に点在する福祉系NPOの緩やかなネットワークであると言われている。その原点は「共通の学びの場」であった。互いの団体が課題を持ち寄り、それぞれの思いを話す場が、NPO同士の横のつながりをつくるきっかけにもなった。次世代の学びによる緩やかなつながりを生む機会として、全ての回に対話を目的としたグループワークを取り入れ実施した。参加者からは、同じ課題を持つ他団体との情報交換の場は、「NPOらしさ」を感じたとの声もあった。(安藤千栄子)

(4)

行政職員研修	実施形態	委託事業(知多市・東海市)	事業規模	264,000円
---------------	-------------	---------------	-------------	----------

目的：住民の福祉の増進を図ることを基本とする地方自治体職員の姿勢を自ら考える機会として、協働の必要性を理解し、NPOの設立の経緯や取り組みの事例及び、協働による地域課題の解決の成果を学ぶ

日程・開催場所	事業内容	参加人数
11/9 知多市市民活動センター・南粕谷ハウス・南粕谷小学校	豊かな市民活動を求めて活動するNPOの目線とその成果を理解し、市民と共に協働のまちづくりに取り組む行政の役割を確認する研修を実施。また、市民協働の仕組み「地域学校協働活動」を学ぶ。 【講義】 ①権利擁護支援を通じた地域づくり～知多地域権利擁護支援センターの取り組み～ 講師：今井友乃((N)知多地域権利擁護支援センター) ②地域担当職員制度について 講師：加藤隆一(知多市企画部市民協働課) ③視察先：南粕谷ハウス、南粕谷小学校内 地域学校協働本部、南粕谷放課後こども教室(かすやっ子Co、生涯学習スポーツ課、子ども若者支援課、学校教育課) ④グループワーク、総括	2年目職員 11人

11/22 東海市役所・日本福祉大学東海キャンパス・東海市立市民活動センター	共創のまちづくり～SDGsの視点からまちづくりを考える～ 【講義】 ①まちづくり政策《ビジョンの共有》 講師：山田浩策（市民協働課） ②視察先：日本福祉大学東海キャンパス 講義：大学（学生）×まちづくりの仕組み 講師：千頭聡（日本福祉大学国際福祉開発学部教授） ③視察先：東海市立市民活動センター 講義：市民活動センター（市民）×まちづくりの取り組み 講師：高井智広（（N）まち・ネット・みんなの広場） ④グループワーク、総括		3年目職員 14人
---	---	---	--------------

[担当者のふりかえり]

地域課題を解決するため、多様な主体と連携している活動を見学することで、市職員として自分たちが市民とどう関わり、できることは何があるのかを考えるきっかけづくりの研修として実施している。参加者からは「普段の業務から自治体や町内会等々、地域とのつながりを意識し、課題やニーズを共有するなど信頼関係をつくっておきたい。」「まずは知ることから始め、課題に直面したときに協働（他の団体の得意分野を借りてくる）という発想を持ちたい。」との感想があった。（安藤千栄子）

(5)

NPO研修	実施形態	委託事業（下表参照）	事業規模	315,480円
-------	------	------------	------	----------

目的：地域で活動するNPOに役立つ知識や制度など研修を通して学ぶ。また「NPO現場めぐり研修」として、活動の実践現場へ訪問し、双方向により見聞きすることで、その活動を理解する

日程	委託元	事業内容	参加者数
11/16	東部地区民生・児童委員	場所：知多市福祉活動センター 研修室 ①「高齢者への相談面談の対応について」講師：佐野志津子（知多市高齢者相談支援センター） ②「介護保険と高齢者福祉」講師：榊原てるみ（知多市長寿課） ③「成年後見制度について」講師：田所愛莉（（N）知多地域権利擁護支援センター） ④「日常生活自立支援事業について」講師：横山嗣信（知多市社会福祉協議会）	18人
11/15	日本福祉大学	オーストラリア・チャールズスタート大学スタディツアー「知多半島内NPOバスツアー」日本の住民参加型の地域づくりを学ぶ。 ①半田市立宮池小学校「学校運営協議会制度とコミュニティスクールにおけるCSWとの連携について」榊原安宏（学校運営協議会）、前山憲一（半田市社会福祉協議会）、笠井香里（宮池小学校） ②南粕谷ハウス「住民主体のボランティアで運営される多世代交流拠点、高齢者のゆるやかな見守りの場」石井久子、今井秀明 ③（認N）絆「自己決定を大切にしたいデイサービスの運営」山崎紀恵子	16人
11/18	一宮市市民活動支援センター	NPO現場見学ツアー 知多半島のまちづくり（電車・バス編） テーマ：協働のまちづくり ①地域に根ざした常滑市活性化の形「みんなの縁がわ」渡辺美佐 ②3つの機能を持つ総合施設「半田市市民活動センター」竹内雅香子（半田市市民協働課） ③楽しく美味しく新しい提案がコンセプトの「クラシティ」松見直美（（株）トワロ・アバンセ）、長利麻衣子（クラシの保健室）、小牧八重子（サイニングストア クラシカフェ）	12人
12/15		テーマ：多世代交流 ①ショッピングセンターの一角で始めた居場所「ラソプラザ」山崎紀恵子（（認N）絆） ②「街かどサロンかめとも」から仕掛けた多世代を巻き込んだ空き家再生 石川正喜（（N）亀崎まちおこしの会）	14人

[担当者のふりかえり]

民生委員として、地域の福祉活動に取り組む中で、住民の相談に応じ、課題解決のためのつなぎ役として知っておきたい様々な制度を学んだ。参加者からは「今までは言葉のみで正確なことを知識として持っていなかったが、制度や支援について理解を深めることができた」との声があった。(安藤千栄子)

電車とバスを乗り継ぎ、地域を歩きながら見学をすることで、拠点になっている地域の街並みや暮らしぶりも感じることができた。拠点を立ち上げた背景や地域との連携を詳しくご説明頂き、それぞれ特色のある地域の取り組みを参加者へ伝えることができた。公共交通機関を利用している見学は、時間の制約や遅延などの課題もある為、複数の行程を考えておく必要があると感じた。(山森英津子)

(6)

日本福祉大学「リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業」	実施形態	委託事業(日本福祉大学)	事業規模	187,000円
--------------------------------------	-------------	--------------	-------------	----------

目的：新たに福祉業界の仕事にチャレンジする人や資格を取得して、スキルアップを目指す人を対象として福祉の仕事に必要な知識、技術を効率的に修得させ、高齢者分野、障害者分野、児童分野など多様な福祉の業務を担える人材を養成し、福祉分野への就業・就職につなげる

事業内容：①実施委員会構成員としての会議の出席(オンライン開催 10/16,12/13,3/13)計3回
②支援プログラム内の介護職員初任者研修に関わる項目の指導講師派遣

[担当者のふりかえり]

11月の開講に向けて、大学担当者と講師派遣について調整を行ったが、受講申込みが少なく、不開講となった。2024年度4月開講に向けて、働いている人でも参加しやすい日程を再検討後、開講を目指すことになった。(山森英津子)

(7)

多様な主体との連携・協働促進コーディネーター実践研修	実施形態	委託事業(愛知県社会活動推進課)	事業規模	842,005円
-----------------------------------	-------------	------------------	-------------	----------

目的：NPOと大学・企業など多様な主体との連携・協働を促進するため、連携・協働に携わる市町村職員等を対象に、連携・協働を促進するコーディネーターとしての業務体験等を含んだ、実践的な内容を学ぶ研修を実施。また、開催結果を報告書としてとりまとめ、市町村、市民活動センター職員等に配付することにより、多様な主体による連携・協働を促す



事業内容：(N)ボランタリーネイバーズ、(N)ボラみみより情報局、当法人の三者で構成する、共同事業体あいち協働事業サポートセンターで実施。「連携・協働のためのコーディネーター専科 参加to実践」全5回のうち1、2回目を基礎編とし、連携・協働に取り組む姿勢や対話の基本、話しあいの場を企画、運営するノウハウやスキルを学び、3、4回目を実践編として2つのコース【A:話しあいの場を企画・運営する】、【B:多様な主体の連携・協働の輪に参画する】から受講生が選択し取り組む。また、5回目は研修全体をふりかえり、実践での経験を地域に持ち帰り受講生が各自のテーマで実行することを目標とした。さらに、それぞれの研修の内容についてまとめた成果報告書を作成した。

	日程	会場	内容		参加人数
1	8/31	あいちNPO交流プラザ	基礎編	第1回「連携・協働、コーディネーターの基本を知る」 講演①連携・協働基本のき～ほしい未来は、自分でつくる～ 講演②協働時代の職員像～コーディネーター心得～ 講師：加藤武志(まち楽房(有)) グループワーク：身近な現場での連携・協働を想像して話し合う	22人
2	9/13	あいちNPO交流プラザ		第2回「連携・協働のための話しあいの「場」を企画する」 講演：協働の仲間を作る 話しあいの場のデザインとは 講師：池田哲也((一社)地域問題研究所) ワーク：「協働の小さな仲間づくりシート」の作成 グループワーク：話しあいの場づくりのコツやポイントを話しあい、マインドマップにて全体共有	19人

3	10/13	あいちNPO 交流プラザ	実践編 Aコース	第3回 「話しあいの場を<デザイン>する」 講義:話しあいの場 事例紹介 講師:三田祐子((株)対話計画/未来茶輪マスターズ) グループワーク:「未来茶輪」実践のための企画書作成(講師選定、テーマ等)・役割分担などを実施。	11人
4	12/13	名古屋都市 センター		第4回 「話しあいの場を<実践>する」 <「未来茶輪」実践内容> 講義:“つながりづくり”で地域活性化～人をどう巻き込むか～ 講師:神谷明彦(東浦元町長) グループワークテーマ:「出会った人を自分の味方にする方法」	11人
5	11/21	愛知大学名 古屋キャン パス	実践編 Bコース	第3回 「連携・協働の<ウラカタ>を知る」 受講生が「協働会議」にオブザーバーとして参加	10人
6	12/2			第4回 「連携・協働の<現場>を知る」 「ぼらマッチ!なごや 2023」の運営スタッフとして活動。 共に活動するスタッフや出展団体と交流し、それぞれの主体の参加動機等を自分で確認	10人
7	1/16	あいちNPO 交流プラザ	総括	第5回 ふりかえり、地域で実行するために 吉村輝彦(日本福祉大学) ふりかえりを自分の中に留めず「やってみよう」を宣言	19人

[担当者のふりかえり]

当法人は実践編Aコースを担当。11人の受講生がスケジュールを共有し、それぞれの役割を進めていくその過程も「話しあいの場」であり、事務局総括の受講生を中心に、多様な意見をまとめ進めていく中に、実務に活かせるノウハウがあると感じた。また、講義の中で学んだ、結論が自分の意見と異なった場合でも、それまでのプロセスに納得していれば人は動けるということ、グループワークで話し合いを重ねることで実践的に学んだ。まちづくりには正解はないからこそ、丁寧な話し合いが求められることを研修全体を通して体験した。(安藤千栄子)

(8)

人にやさしい街づくりセミナー	実施形態	委託事業(愛知県建築局公共建築部住宅計画課)	事業規模	150,000円
----------------	------	------------------------	------	----------

目的: 県民・市民が、人にやさしい街づくりへの理解を深める

事業内容: 第1部では、東海地方を中心に活躍する歌手 聖はじめさんによる、手話のパフォーマンスを交えた、誰もが楽しめる「人にやさしい」コンサートを実施。対談では多様性をテーマに、自らの個性を尊重し活動する聖さんと、南粕谷ハウスを運営する石井久子さんから、人にやさしいまちづくりを考えるヒントを伺った。第2部では、まちづくりグループワークと福祉体験ワークショップを実施。



日程	場所	事業内容	参加人数
10/29	【第1部】 知多市市民活動センター 会議室1・2 オンライン:南粕谷ハウス	①聖はじめ「自分らしく、ありのままのコンサート」 ②対談「自分らしく生きられる、やさしいまちとは」 聖はじめ、石井久子(南粕谷ハウス) ※第1部は、免許返納や会場への交通手段がない人も、徒歩で行ける身近な居場所でイベントに参加できるよう、南粕谷ハウスへオンラインで配信。	会場39人 オンライン 15人
	【第2部】 知多市市民活動センター 会議室1・2、交流室	③グループワーク「知多市のまちづくりを考えよう」 「やさしいまち」とはどんなまちかを、高齢者や障害のある人の立場や気持ちになって、知多市の「人とまちのバリアフリー」を考える。	11人
		④福祉体験ワークショップ 車いす体験、白杖体験、高齢者疑似体験を通じて、日常の不自由さの理解を深める。	20人
			のべ85人

[運営会議(全2回実施)]

- ・8月9日 出席者:愛知県住宅計画課、知多市都市計画課、サポートちた
- ・10月12日 出席者:愛知県住宅計画課、知多市都市計画課、知多市社会福祉協議会、サポートちた

[担当者のふりかえり]

手話を交えたコンサート、対談、グループワーク、福祉体験など多様な企画と、センターまつりとのコラボ開催であったことから、家族の参加や、高齢者、またコンサートでは障がい(聴覚)を持つ人など、幅広い世代や多様な人の参加が得られた。アンケートでは「多様性を受け入れることへの理解が深まった。」「障がいを持った人への理解が深まった。」などの回答が多くあった。(安藤千栄子)

II 市民活動支援事業

II-1 市民活動事務局支援事業

(1)

手づくりカフェ Ada-coda	実施形態	自主事業	事業規模	2,185,275円
-------------------------	-------------	------	-------------	------------

目的:誰もが自分色で輝ける場の提供と「食」を通じたコミュニティづくりの応援

場所:知多市市民活動センター 調理室・交流室

事業内容:ワンデイシェフに登録した一般市民・団体が提供するランチ等のサポート及びコーディネート

ワンデイシェフ登録数:27人(12団体)、来店者数:延べ2,428人

期間:通年

20周年記念ロゴマークを作成し、年間を通じてPRを行った。	5/9、6/5 20周年企画 “いえめし”を楽しもう	8/4 中学生レストラン (星槎名古屋中学校)	10/28 センターまつり出店	12/11、12/13 20周年企画 給食再現ランチ	11/27、1/30、3/22 ワンデイシェフ 体験会
					

[担当者のふりかえり]

20周年企画では、来店したお客様だけでなく、SNSを通じて多くの人に好きな給食を投票してもらい、それを6組のシェフが再現する「給食再現ランチ」を行った。お客様同士だけでなく、普段は個々で活動しているシェフ同士のコミュニケーションをとることができる良い機会となった。今年度もシェフ体験会や、SNSでの発信を積極的に行っていきたい。(落水洋美)

(2)

ベティ基金事務局	実施形態	委託事業((株)R and Tカンパニー)	事業規模	295,000円
-----------------	-------------	-----------------------	-------------	----------

目的:制度によらない障がい者福祉活動等社会貢献活動を行うボランティア団体・NPO法人等を応援するベティ基金の助成運用及び広報に係る事務を行うことで、団体支援及び地域交流・活性につなげる

[助成審査会 3回] 日程:4/14、8/10、12/1 会場:知多市市民活動センター会議室

[助成金決定]

助成月	助成金決定団体名/団体概要	助成事業	助成額
4月	花と緑と健康のまちづくりフォーラムメリーフェイスちた/園芸福祉事業	園芸福祉活動で使用する花苗、農機具購入費	6万円
	パソコンボランティアまうすの会/パソコン支援などITを通じたボランティア	市民向けLINE講習会で使用するテキスト印刷のためのプリンター購入費	5万円

	おもちゃ病院ちた/おもちゃの修理を通して、子どもたちの「物を大切に作る心」「思いやりのある心」を育てると共に、会員の「生きがい作りの場」	紙カルテをデータ化するための PC、およびおもちゃ修理のための特殊器具購入費	10万円
	遊び会/発達障害児、不登校児支援	遊びを通じたイベントを開催し、人とのつながりや安心する居場所を提供する事業	4万円
	南知多ユニバーサルビーチプロジェクト/障害のある方もない方も誰もが気軽に安心して楽しめるユニバーサルデザインなあそび場や居場所づくり	車いすユーザーが利用するキャンプ場のスロープ改修費	10万円
8月	ルボン/録音図書作成	録音図書を作成のための、中古パソコン、オーディオキャプチャー、マイク、マイクスタンド等の購入	5.5万円
	ちた子ども若者支援ネット/若者就労体験事業	就労体験者への交通費、受入事業者への協力金、ボランティアスタッフへの報償金	4万円
	パパママ学級産前産後ケア/産後うつや体力回復のための母親への居場所づくり	家族で楽しめる1周年感謝祭のイベントチラシ印刷費、スタッフ謝金	7万円
	人形劇サークルパペットやなべ/人形制作、人形劇公演	パペット人形や小道具などを保管する倉庫購入	16万円
	イルカくらぶ/発達障害児支援	障がい児をもつ母親の息抜きのための事業(交流会、健康講座)	2.5万円
	(一社)子どもねっこ育社HSC子育てサロン/HSC/HSPの啓発活動、子どもの居場所づくり	HSC(ひといちばい敏感な子)子育て講演会チラシ・資料印刷費	5万円
	遊び会/発達障害児、不登校児支援	遊びを通じたイベントを開催し、人とのつながりや安心する居場所を提供する事業	3万円
12月	(N)インクルーシブダーツクラブ/ダーツレクリエーション訪問事業	ダーツボード、タブレット等備品購入	13万円
	自然農・自然栽培で知多を豊かにする会/自然と共存するサステナブルなまちづくり	世界の貧困問題と自分たちのつながりを考える講演開催費用(謝金、チラシ印刷費、会場費)	7万円
	南粕谷元気会/地域住民の交流の場	地域住民との交流会や講演会開催ためのプロジェクト購入費	10万円
	Caféパティオ実行委員会/精神障害の方の居場所づくり	居場所立ち上げのためのカフェの食器、台所用品購入費	10万円

[ベティ基金交流会]

日程	場所	参加人数
2024/1/24	ベティさんの家太田川	13団体19人、事務局2人、出資団体1人



[担当者のふりかえり]

障害者支援団体を中心に、多くの市民活動団体からの申請があり、寄付金額最大までの助成になった。コロナ禍で中止していた交流会を4年ぶりに開催し、それぞれの助成事業やこれからの活動の展望を報告した。地域を超えて、初めて出会う団体も多く、さらなる交流が生まれる話し合いができた。(山森英津子)

(3)

事務支援	実施形態	自主事業	事業規模	29,628円
------	------	------	------	---------

目的：NPO法人等のIT相談、講座運営などの事務代行により、活動をサポートする

事業内容：

	日程	支援団体	場所	内容
1	7/13	地域開発みちの会	知多市市民活動センター	会員対象の「Zoom基礎講座」サポート
2	8/10	(一社)サポートネットゆっか	知多市市民活動センター	ハイブリッド講演会予行練習サポート
3	1/6	地域開発みちの会	東海市立市民活動センター	ハイブリッド講演会運営サポート

[担当者のふりかえり]

ハイブリッド形式の講演会を実施するためのノウハウなど、各団体が主催する講演会の実践に向けてサポートを行った。オンラインを使用した講演会は、会場の設備・機器類なども影響するため、基本的な操作技術と合わせて、様々なパターンに応用できるよう経験値も必要であると感じた。これまでは感染症対策としてオンラインが活用されてきたが、今後はコストや時間の有効活用などの視点から、オンラインが見直されていくと感じた。(安藤千栄子)

II-2 市民活動支援事業（受託契約事業）

(1)

市民活動センター相談・支援	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	9,884,400円
----------------------	-------------	----------------	-------------	------------

目的：市民・コミュニティ・市民活動団体及び事業者が自発的に行う、共益・公益活動を促進するための事業実施及び機能の充実を図ることにより市民協働のまちづくりに寄与する

事業内容(右表)

- ①市民活動に関する相談業務 ※窓口での問合せ件数を含む
- ②市民活動のための場所の提供業務
- ③センター使用料徴収業務
- ④市民活動に関する情報の収集及び提供業務
 - ・行政や市内外の活動団体等からの情報は、交流スペース、ラック、掲示板、ホームページを活用した情報発信
 - ・団体情報ファイルを整理して最新の情報収集
- ⑤その他市民活動の推進に必要な業務
 - ・waiwai交流会(年2回) センター登録団体を主対象に情報交換会を実施

月	稼働日数(日)	①相談(件数)	②場所の提供業務		③使用料徴収業務(件数)
			市民活動室利用(人)	会議室利用(人)	
4月	30	31	325	517	72
5月	28	19	254	603	132
6月	30	28	286	619	59
7月	30	33	257	796	46
8月	29	34	273	668	58
9月	29	45	290	554	47
10月	30	31	326	771	56
11月	28	20	236	796	77
12月	28	30	226	576	116
1月	27	31	231	629	41
2月	27	31	246	682	29
3月	30	21	288	679	45
計	346	354	3,238	7,890	778

[waiwai交流会]

日程	内容	参加人数
8/6	講演「SNSを正しく学ぼう！」 講師：向田邦江氏(非営利型一般社団法人ウーマンキッズラボ)	25人
8/29	講義「食の安全を学ぼう！」 講師：松田清路氏(愛知県保健医療局生活衛生部生活衛生課食の安全・安心グループ)	23人



(2)

市民活動センター清掃事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	930,600円
---------------------	-------------	----------------	-------------	----------

目的：障がいの有無に関わらず、働く意欲のある人への就労の場の提供およびそのコーディネート

事業内容：週5日のセンター館内の清掃業務(年間253日)及び清掃具・消耗品の管理・充填

(3)

市民活動センター夜間管理事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	168,300円
-----------------------	-------------	----------------	-------------	----------

目的：センター夜間時における施設管理業務

事業内容：夜間(18:00~21:30)の場所の提供業務と閉館作業 ※夜間利用がある日のみ対応

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用時間(時間)	8	4	11.5	8	18	4	10	10.5	3	12	19.5	12.5	121
利用日数(日)	3	2	4	3	7	2	5	4	1	6	7	5	49

(4)

知多市市民活動支援事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	504,965円
--------------------	-------------	----------------	-------------	----------

目的：少子高齢化の進行、単独世帯の増加など、社会環境が大きく変化していく中で、地域課題、社会課題は多様化しつつある。市民が住み慣れた地域で共に支え合いながら安心して暮らし続けるためには、様々な主体が連携・協働することが不可欠である。また、これまで以上に市民活動の担い手確保が困難になることが予想される。そこで、地域の現状や社会のニーズに合った持続可能な市民活動の推進を図るため、市民活動団体が地域で活躍する機会や活動の場の創出について支援することを目的とする

事業内容：実行委員会を立ち上げ、若者の視点を取り入れたセンターまつりや情報発信ワークショップを実施した。また、市民交流が盛んな先進地への視察や若者へのセンター周知を目的に、学習室の場の提供を行った

	日程	内容	参加人数
1	10/28.29	市民活動センターまつり ハロウィンフォトスポット、クイズラリー、野外ステージ、市民活動団体掲示、Ada-coda軽食販売、人にやさしいまちづくりセミナー	835人
2	11/1	豊明市共生交流プラザカラット視察 先進地の視察を行い、センターのあり方を検討	7人
3	10/1	センター利用者アンケート センター登録団体及び利用者に対してアンケートを行い、団体の課題やニーズの把握	118人
4	2/3	情報発信ワークショップ センターインスタグラムを利用した、情報発信支援	13人
5	1/15～3/18	月曜学習室 10日間開催 センター周知を目的とした、学生への学習室の提供	34人

[センターまつり実行委員会(8/19、9/9、9/30、10/21、12/10 計5回)] センターまつりの企画、準備、当日運営、振り返り。

[担当者のふりかえり]

実行委員会を立ち上げ、若者の意見を取り入れた、映えスポットなどのまつり内容を実施することができた。カラット視察では、市民が気軽にセンターを訪れ、多彩な市民交流と活動の様子を学ぶことができた。次年度は、子育て世代の登録団体を中心に協力を呼びかけ、市民活動を理解し興味を持ってくれる体験型の催しやイベントを企画し、市民が気軽に集いつながりが生まれる施設として、新たな市民活動支援の展開を考えていきたい。(山森英津子)



(5)

知多市地域担い手育成事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	473,000円
---------------------	-------------	----------------	-------------	----------

目的：「コミュニティ別地域カルテ」の活用法を学び、地域の課題解決との関連性を理解する。また、新たな取り組みや見直し事例から、新年度の地域における活動の発展に向けたヒントを持ち帰る

開催場所：知多市市民活動センター会議室、メディアス体育館ちた大会議室

日時	講師	事業内容	受講対象	参加人数
2/10	青木優(知多市市民協働課) 会場:メディアス体育館ちた 大会議室	講義①「地域の現状とこれからの理解～地域カルテの説明～ 講義②「新たな取組や既存事業の見直し事例の共有」 演習「めざす地域像を考える」	令和5年度コミュニティ役員 令和6年度コミュニティ役員	44人
2/24	斎藤主税((N)都岐沙羅パートナーズセンター) 会場:知多市青少年会館ホール	講義「持続可能な地域活動を行うために～これまでとこれからは違う！時代に即した進化が必要～」 演習「10年後の暮らしを考える」	生活支援Co. 行政職員(地域担当職員等)	43人
延べ				87人

[担当者のふりかえり]

昨年度完成した「地域カルテ」を活用し、人口減少・少子高齢化などの社会課題を「ワガコト」として捉え、自分達の地域を俯瞰し、その魅力や課題をコミュニティ役員だけでなく、地域担当職員・SCと共有することで、より自分達の地域の特性や課題を認識することができた。演習では、「めざす地域像」を実現するために、今できること考え、講義での全国の事例を参考に、新たな取り組みや事業の見直しなど「まず何から始めたらよいか」を考えるきっかけとなった。また、役員の負担軽減、事業のスリム化を図っていくためには、地域側だけでなく行政側も共に考え、サポートしていくことが求められていると感じた。(安藤千栄子)



Ⅲ 情報交流促進事業

Ⅲ-1 情報提供事業

(1)

WEBサイト管理	実施形態	自主事業	事業規模	0円
-----------------	-------------	------	-------------	----

目的:当法人の情報発信(事業内容、講座、開催イベント等の広報)を行う

事業成果:アクセス数(2023/4/1~2023/7/16) 6,295回(約1,800回/月)

※サイトの設定ミスにより、7/16以降のアクセス数が集計できなかった。

URL <https://sunnyday-cfsc.ssl-lolipop.jp/>

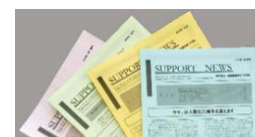


(2)

ニュースレター発行 法人パンフレット発行	実施形態	自主事業	事業規模	0円
---------------------------------	-------------	------	-------------	----

目的:地域福祉サポートちたの事業報告・イベント案内・会員団体情報などのほかに、福祉・NPO・市民活動情報等を会員をはじめ、行政、社会福祉協議会、市民活動センター、市民、学生に広く発信

発行物	時期・部数	配布先
ニュースレター 「SUPPORT NEWS」	年4回(4月、7月、10月、1月) 各回1000部	会員・会員団体、 愛知県内福祉・協働部署 愛知県内社会福祉協議会 愛知県内市民活動センター 県外NPOセンター各所
法人パンフレット	年1回4月改訂 2,200部	



Ⅲ-2 情報交流事業

(1)

会員交流	実施形態	自主事業	事業規模	0円
-------------	-------------	------	-------------	----

目的:知多地域のNPO団体における課題解決、活動の方向性を考えるために必要な情報の提供を行うとともに、会員相互の懇親を図り情報交換の機会を持つことで、NPOの発展に寄与する

日程	場所	内容	参加人数
5/30	知多市民活動センター(オンライン併用)	「日本福祉大学サービラーニング新体制について」 講師:藤井渉(日本福祉大学社会福祉学部)/両角達平(日本福祉大学社会福祉学部)	33人

[担当者のふりかえり]

新たにサービラーニングの担当となった、両教員をお迎えし、研究内容やSLに期待することをお話いただいた。グループワークでは、受け入れの際に感じている、学生の様子やSLの進め方について意見交換を行った。教員、NPO共に学生のコミュニケーションの希薄さや、プログラムの中で指導をしていく難しさなどの意見が出た。大学とNPOそれぞれの想いを伝えあって、地域全体で学生を育てていけるよう、今後も交流の機会を大切にしていきたい。(山森英津子)



(2)

会員リーダー研修	実施形態	自主事業		事業規模	10,500円
-----------------	-------------	------	--	-------------	---------

目的：まちづくり型ふくしを育んできた市民力を地域共生社会に生かした事例を通して、NPO 活動の次なる展開を考える

日程	場所	内容	参加人数
10/20	ちばる食堂(岡崎市)	講師:市川貴章(ちばる食堂) “認知症でも働くという選択肢を”「ちばる食堂」の視察を通じて、認知症とともに生きる人の社会参画と活躍の場を考える。	10人

[担当者のふりかえり]

ちばる食堂は、「一般社会の人」が日常の中で「福祉」と出会う場として、福祉の壁がないまちづくりに挑戦し続けている。制度だけではなく、地域を巻き込み展開しているその熱い思いを伺った。参加者からは、これまで制度事業を拡充してきた団体は、今や地域で大きな雇用を生む存在となり、持続し続けていく使命がある中で、こうした挑戦していく姿勢は、自分達NPOの設立の原点と重なるとの声があった。(安藤千栄子)



ちばる食堂では、当事者、支援者という「ふくし」を感じない空間の中で、市民の方が気軽に足を運ぶ居場所になっていた。あえて難しい飲食経営に挑戦する、市川さんの熱い思いを感じることができた。地域共生社会を進めていく中で、新しい「ふくし」の気づきを得ることができた。(山森英津子)

(4)

愛知県内NPO支援センター情報交流会	実施形態	愛知県内市民活動支援センター 情報交流会世話人会	事業規模	0円
---------------------------	-------------	-----------------------------	-------------	----

目的：県内の市民活動センターと市町村の市民協働担当課が集い、これからのセンターに求められる役割について学び合うことを目的とする

日程	場所	事業内容	参加人数
9/29	あいちNPO交流プラザ	市民活動支援の核、「相談」について深めよう ①相談ケース検討 ②グループトーク(相談スキルの育成と習得、データ活用等について) ③全体共有	26人
3/4	知多市市民活動センター	今さら聞けない、協働ってどうやるの？ ①あいち協働ルールブックの説明 ②グループトーク(各市町村で取り組んだ協働事例の共有) ③個人ワーク&ディスカッション ④全体共有	36人

[担当者のふりかえり]

市民活動センター職員の有志で、企画準備を行い、学びを深めるため交流会を開催している。今年度から世話人として打合せから参加し、市民活動支援として、重要である相談スキルと協働について、世話人同士協力しながら、開催することができた。他の市町村のセンター運営体制に違いはあるが、それぞれの特色を活かした事例などは、大変参考になり、広い視点で学びを得ることができた。今後のセンター運営で活かしていきたい。(山森英津子)

IV 啓発・相談事業

IV-1 講師派遣 各種審議会・審査会・委員会等参画

NPO・まちづくり講師派遣	実施形態	行政	事業規模	152,100円
		民間	事業規模	215,082円

目的：大学、市民団体、行政等が行う福祉、市民活動支援、まちづくり、協働等へのコーディネート、講師、委員などの派遣を行い、地域福祉や市民活動の活性化を図る

	依頼元	日程	内容	派遣者
(1)大学等講師派遣				
1	日本福祉大学 国際福祉開発学部1年	4/21	現代福祉 講義「知多半島のNPOと地域づくり」	市野
2	日本福祉大学 経済学部・社会福祉学部(行政専修) 合同科目	5/25	政策形成実践特講 I 講義「知多市市民協働の取組」	市野
3	日本福祉大学 社会福祉学部2年	6/9	行政福祉特別講義「知多半島における市民活動の事例から」	市野
4	日本福祉大学 社会福祉学部1年	6/28	社会福祉入門「地域における福祉実践(1)ーNPOー」	市野
5	日本赤十字豊田看護大学看護学部1年	11/15	「ボランティア活動論」	市野
(2)行政・各種団体講師等派遣				
1	東海市	4/21	行政協力員研修会	市野
2	(社福)愛知県社会福祉協議会	6/8~1/26	あいちシルバーカレッジ講義「地域福祉とNPO」	市野
3	日本NPO学会	6/10	第25回研究大会・公開シンポジウム登壇	市野
4	ジネンカフェ	1/13	講演「私の居場所づくりから、想いを形にするお手伝いへ」	市野
5	中部地区社会福祉協議会	1/20	講演「取り組み事例から学ぶ、地域福祉活動について」	市野

(3)各種検討委員会等委員派遣				
1	全国NPO事務支援カンファレンス会員			市野
2	愛知県とNPO行政の協働に関する実務者会議委員			市野
3	愛知県市民活動支援センター情報交流会実行委員会			市野
4	(N)ボランタリーネイバーズ理事			市野
5	(N)あいちNPO市民ネットワーク理事			市野
6	(N)だいこんの花理事			市野
7	(一社)サステナブル・コ・イノベーションフォーラム理事			市野
8	(社福)愛光園理事			市野
9	知多半島フットケアサポート会監事			市野
10	(独)国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金専門委員			市野
11	知多メディアネットワーク(株) FM番組審議会委員			市野
12	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員			市野
13	知多市特別職等報酬審議会委員			市野
14	知多市環境審議会委員			市野
15	知多市都市計画審議会委員			市野
16	知多市若者支援地域協議会構成員			山森
17	知多市市民活動センター連絡会議 開催日(月1回):4/5、5/10、6/7、7/5、8/2、9/6、10/4、11/1、12/6、1/10、2/7、3/6			山森、安藤
18	知多市市民活動センター連携会議 開催日(月1回):4/12、5/17、6/20、7/5、21、8/16、9/8、25、10/12、23、11/15、12/13、20、1/18、2/9、3/18			山森、市野
19	(公財)日本非営利組織評価センターグッドガバナンス評価員			市野
20	尾張旭市自治会等活動促進助成事業候補選定会議(6/25)			市野
21	尾張旭市自治会等活動促進助成事業中間報告会(12/10)			市野
22	みよし市産後ホームヘルプ事業協議会			市野
23	愛知県若者未来応援協議会・半田地区協議会			市野
24	愛知県青少年育成県民会議参加団体			市野
25	(一社)全国コミュニティ財団協会 コレクティブインパクトを生み出すローカルファンド創生事業 審査会委員			市野

IV-2 NPO・まちづくり相談事業

まちづくり相談事業	実施形態	自主事業	事業規模	0円
------------------	-------------	------	-------------	----

目的：NPO法人設立や団体の日常運営、課題解決による活動支援
 事業内容：電話・FAX・Eメール・来訪などで相談に対応 延べ107件

[分野別相談内訳]

健康・医療・福祉の増進社会	40	地域安全	1	科学技術の振興	1
教育の推進	3	人権擁護・平和の推進	1	経済活動の活性化	1
まちづくりの推進	23	男女共同参画社会の促進	1	職業能力の開発・雇用機会の拡充支援	2
学術・文化・芸術・スポーツの振興	1	子どもの健全育成	22	団体の運営・活動援助	5
環境の保全	3	情報化社会の発展	1	その他	2

V 調査・研究・提言事業

V-1 NPO・まちづくり研究調査提言事業

(1)

0-100研究プロジェクト 事務局	実施形態	委託事業(日本福祉大学看護実践研究センター)	事業規模	199,000円
--------------------------	-------------	------------------------	-------------	----------

【プロジェクトD：専門職による多職種連携・職員研修】

目的：知多半島5市5町の実態に基づいた在宅医療・介護連携推進事業/多職種研修推進のために、あらゆる壁を越えたネットワークの構築

研究者：白尾久美子(日本福祉大学看護学部)、藤井博之(長野大学社会福祉学部)、上山崎悦代(日本福祉大学福祉経営学部)、岡本一美(日本福祉大学地域ケア研究推進センター)、丸山陽子(日本福祉大学看護学部)

実施内容：2019～2022年度までに実施した計8回のワークショップが地域にどのような影響をもたらしたのか、その成果をまとめるためのグループインタビューを開催、その事務局を担当した。

日程	場所	内容	参加人数
2/5	知多市市民活動センター会議室	グループインタビューのメンバー調整、開催、逐語録の作成、など	9人

VI 会議の開催に関する事項

	会議名	内容	参加者	場所・日程
1	通常総会	定款の定めるところによる通常総会開催	会員 37人 (委任状含)	知多市市民活動センター 5/30
2	理事会	定款の定めるところによる理事会開催	理事	知多市市民活動センター、当法人事務所、オンライン併用 5/15、7/18、9/19、11/20、1/15、3/18(年6回) 書面開催12/25
3	監査	定款の定めるところによる監査	監事	当法人事務所 5/12
4	担当者ミーティング	①福祉人材育成グループ ②運営会議 ③喫茶グループ	各担当者	当法人事務所 ① 4/10、5/16、7/20、9/6、11/21、12/13、1/31、2/9、3/4 ② 4/13、6/2、6/26、8/30、11/2、12/11、1/5、1/25、3/14 ③ 4/6、7/4、9/4、10/31、12/4、1/10、
5	スタッフミーティング	事業進捗報告・共有 市民活動センター事業の改善	スタッフ全員	当法人事務所 4/6、5/8、6/8、7/3、8/7、9/4、10/6、11/6、12/4、1/10、2/6、3/6 (月1回)

その他実績

	日にち	研修名など	〈開催場所等〉
4月	11日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	24日	(N) ボランティアネイバーズ理事会	〈オンライン〉
	26日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター理事会	〈みよし市市民活動センター〉
5月		JCNEアドバンス評価の新評価基準の説明会	〈オンライン〉
	9日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	18日	(社福) 愛光園理事懇談会	〈オンライン〉
	19日	知多市第6次総合計画意見交換会 第1回	〈知多市役所〉
	20日	(N) だいこんの花通常総会	〈喫茶らでいっしゅ〉
		(N) ゆめじろう通常総会	〈ゆめじろう事務所〉
	23日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
		知多市第6次総合計画意見交換会 第2回	〈知多市役所〉
	27日	(一社) 日本福祉協議機構就B事業所 UNIBOレセプション	〈豊田市「T-FACE」〉
		(認定N) 絆通常総会	〈地域たすけあいセンター絆〉
	28日	(N) りんりん通常総会	〈りんごびあ〉
		(N) あかり通常総会	〈街かどサロンきらり〉
		(N) 知多地域権利擁護支援センター通常総会	〈知多市福祉活動センター〉
6月	29日	(N) ボランティアネイバーズ理事会	〈オンライン〉
	31日	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員会	〈東海市しあわせ村〉
	1日	(社福) 愛光園理事会	〈愛光園〉
	2日	(一社) 中部SCIフォーラム理事会	〈オンライン〉
	3日	(N) 中部プロボノセンターフェスティバル2023	〈ウインクあいち〉
		(N) チャレンジド通常総会	〈美浜市〉
	4日	やなべっ子食堂	〈りんごびあ〉
	6日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	7日	(認定N) ゆいの会通常総会	〈ゆいの会〉
	15日	知多市環境審議会	〈知多市役所〉
	16日	(N) 日本NPOセンター通常総会	〈オンライン〉
7月	18日	(N) ボランティアネイバーズ通常総会	〈名古屋市市民活動推進センター〉
	23日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター通常総会	〈みよし市市民活動センター〉
	25日	尾張旭市自治会等活動促進事業候補選定会議	〈尾張旭市役所〉
	3日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	4日	愛知県若者未来応援協議会・半田地区協議会	〈クラシティ〉
	5日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 理事会	〈みよし市市民活動センター〉
8月	18日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	20日	(社福) 愛光園理事懇談会	〈愛光園〉
	26日	(N) 起業支援ネット通常総会	〈地域資源長屋なかむら〉
	29日	三矢先生(名古屋学院大学准教授)就任祝賀会	〈七番〉
	6日	エスペランサありがとうパーティー	〈知多市朝倉団地〉
	7日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
8月	14日	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員会	〈しあわせ村〉
	17日	(社福) 愛光園理事懇談会	〈オンライン〉
		知多市環境審議会	〈知多市役所〉
	18日	四日市市 知多市市民活動センター視察対応	〈知多市市民活動センター〉
	20日	(N) ボランティアネイバーズ理事会	〈名古屋市市政資料館〉
	23日	地域とともにある学校づくり 愛知フォーラム・研修会2023参加	〈オンライン〉

	日にち	研修名など	〈開催場所等〉	
9月	5日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈みよし市民活動センター〉	
	7日	(社福) 愛光園理事会	〈愛光園〉	
	9日	愛知県人権啓発キャラバンイベント特別講演 参加	〈オンライン〉	
	15日	(N) だいこんの花理事会	〈喫茶らでいっしゅ〉	
	20日	サイボウズIT研修 (N) 絆 アップサイクルWS	〈オンライン〉 〈地域の縁側ラソ・プラザ〉	
10月	1日	(社福) 愛光園50周年感謝の式典	〈愛光園〉	
	4~5日	小規模多機能自治の集い2023	〈東京〉	
	7日	(N) 絆 アップサイクルWS	〈地域の縁側ラソ・プラザ〉	
	10日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉	
	14日	日本福祉大学サービスラーニング報告会	〈美浜キャンパス〉	
	16日	日本福祉大学障害児支援スペシャリスト養成プログラム実施委員会	〈オンライン〉	
	17日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ 愛知県人権啓発キャラバン事例発表 参加	〈みよし市市民活動センター〉 〈あいちNPO交流プラザ〉	
	19日	(社福) 愛光園理事懇談会	〈愛光園〉	
	23日	日本福祉大学防災講演会「災害に備えよう、私たちを守る法の知識」参加 知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員会	〈東海キャンパス〉 〈しあわせ村〉	
	24日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉	
	28~29日	知多市市民活動センターまつり	〈知多市市民活動センター〉	
11月	3日	ひかりのさと地域交流会	〈愛光園〉	
	9日	知多市環境審議会	〈知多市役所〉	
	11~12日	生活困窮者自立支援全国研究交流大会	〈北海道〉	
	15日	東海市地域大円卓会議 参加	〈東海市芸術劇場〉	
	16日	(社福) 愛光園理事懇談会	〈愛光園〉	
	21日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉	
	26日	大興寺四季ざくら祭り	〈大興寺地区〉	
12月	2日	第2回SDGsパートナーシップフォーラム	〈セントレア〉	
	3日	(社福) 愛光園 ひかりのさとの会 寮美千子氏講演会 参加	〈愛光園〉	
	4日	(N) ボランティアネイバーズ理事会	〈オンライン〉	
	5日	東海社会学会第1回研究例会	〈オンライン〉	
	7日	(社福) 愛光園理事会	〈愛光園〉	
	8日	(N) だいこんの花理事会	〈喫茶らでいっしゅ〉	
	10日	尾張旭市自治会等活動促進助成事業中間報告会	〈尾張旭市中央公民館〉	
	13日	日本福祉大学障害児支援スペシャリスト養成プログラム実施委員会	〈オンライン〉	
	18日	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員会	〈東海市しあわせ村〉	
	21日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ 日本福祉大学「政策形成実践特講I」報告会	〈みよし市市民活動センター〉 〈美浜キャンパス〉	
	22日	知多市特別職報酬等審議会	〈知多市役所〉	
	1月	17日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 理事会	〈みよし市市民活動センター〉
		18日	(社福) 愛光園理事懇談会	〈オンライン〉
19日		金田学さんを送る会	〈名古屋市〉	
24日		知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員会	〈東海市しあわせ村〉	
25日		知多市特別職報酬等審議会	〈知多市役所〉	
28日		知多半島フットケアサポート会総会	〈知多市市民活動センター〉	

	日にち	研修名など	〈開催場所等〉
2月	15日	(社福) 愛光園懇談会理事会	〈愛光園〉
	19日	(一社) 全国コミュニティ財団協会 公募審査会	〈オンライン〉
	20日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	22日	令和5年度子どもゆめ基金審査委員会	〈オンライン〉
	25日	(N) ボランティアネイバーズ理事会	〈名古屋市音楽プラザ〉
3月	2日	第16回褥瘡事例検討会 参加(すみれ訪問介護ステーション主催)	〈あいプラザ半田〉
	3日	知多市若者就労支援フォーラム2024	〈知多市青少年会館〉
	5日	(N) だいこんの花理事会	〈喫茶らでいっしゅ〉
	6日	みよし市母子支援協議会	〈みよし市市民活動センター〉
	7日	(社福) 愛光園理事会	〈愛光園〉
	8日	(一社) 全国コミュニティ財団協会 面接審査会	〈オンライン〉
	8日	(一社) サポートネットゆっか10周年記念の会	〈サポートネットゆっか〉
	10日	あいちSSW実践研究会	〈日本福祉大学名古屋キャンパス〉
	12日	(N) 亀崎まちおこしの会訪問	〈街かどサロンかめとも〉
	13日	日本福祉大学障害児支援スペシャリスト養成プログラム実施委員会	〈オンライン〉
	15日	第2回知多市都市計画審議会	〈知多市役所〉
	16日	「NPO代表者白書」調査結果速報版を読む会	〈オンライン〉
	17日	第33回南医療生協健康づくりフェスティバル	〈南生協病院〉
	18日	日本福祉大学『「0から100歳の地域包括ケア」への挑戦』出版記念公開研究会	〈東海キャンパス〉
	19日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
		(N) だいこんの花理事会	〈喫茶らでいっしゅ〉